

二〇一九年度

上宮学園中学校入学考査問題（一次適性検査型）

国語

（注意）

- （1） この問題用紙は、「開始」の放送があるまで開いてはいけません。
- （2） 問題は「一」から「二」まであります。試験時間は五十分です。
- （3） 解答用紙は別に一枚あります。
- （4） 解答用紙には、必ず受験番号・名前を記入しなさい。
- （5） 「終了」の放送で、筆記用具を置きなさい。

【一】 次の文章は、小学六年生の良太君の家庭での会話を書いたものです。【良太君の家族のやりとり】を読んで、後の問いに答えなさい。

【良太君の家族のやりとり】

良太 来年はいよいよ東京でオリンピックが開かれるね。世界中の人がカンセン^aにやってくるんだらうな。楽しみだなあ。

父 ただでさえ最近では日本にやってくる外国人が増えているから、オリンピック開催^{かいさい}ともなると、もっとたくさんの人々が日本を訪^{おとず}れて、大変なにぎわいになるだらうね。

母 オリンピックに限らず、こういった国際的なイベントは、日本だけじゃなくて世界中のみんながキョウリョク^bしないとうまくいかないわよね。

良太 世界中の色々な国の人々が集まって一つのことをするなんて、なんだかわくわくするな。これからは A 化社会だから、国境をこえてそういうこともどんどん増えていくって学校の先生も言ってたよ。でもそのためには、やっぱり外国語を勉強することが大切だよな？

父 外国人とうまく付き合っていく上で、もちろん外国語の勉強も大切だけれど、もっと重要なことがあるぞ。

良太 もっと重要なこと？

父 まずは、われわれ日本人と外国人は、「ちがうもの」^dだということをはっきりとミト^cめることが大事なんだ。それぞれの国には異なった文化やシェウカン^dがあり、ものの考え方が全然ちがう。日本人の間ではあたりまえだと思っっていることでも、外国人にとっては特別なこともたくさんあるんだ。

母 そうね、それがきちんと理解できていない人がいるから、うまくいかないこともたくさんあるのよ。

良太 そういえば、西洋の人が初めて日本にやってきたときに部屋の中に土足で上がりこんでトラブルになった、という話を聞いたことがあるけど、それもおたがいが文化のちがいを理解していなかったから起こったことだよな。

父 その通りだ。だが、ちがいを理解するだけでは不十分なんだ。今の良太の話の例だと、具体的にどうすればトラブルにならなかったと思う？

良太 うーん、西洋の人が **B** と思う。

父 そうだね。逆に日本人が外国に行った時は、相手の国のことをよく理解して、それに合わせるといふ気持ちが必要なんだ。

母 あと、日本人はもっと自分の意見をはっきり言う、ということも大切ね。日本人の間では **C** がよいことのように思われているけれど、外国人には言葉で伝えなければわからないと考えている人も大勢いるわ。

良太 なるほど、わかったよ。どうすれば外国の人々とうまくやっていけるか、ぼくももう少し考えてみるね！

問1 ― 線部 a と d のカタカナを、それぞれ漢字に直して答えなさい。

問2 A に入る、「地球規模」という意味の外来語を、**カタカナ五字**で答えなさい。

問3 ― 線部「文化のちがい」とありますが、日本と西洋におけるさまざまな文化のちがいについて、いっばんてき一般的に、より日本に当てはまると考えられるのはどれですか。次の中から二つ選んで、記号で答えなさい。

ア 伝統的な住居にはかべが少なく開放的なつくりになっている。

イ 人と会ったときはあいさつとして握手あくしゅしたり抱きついたりする。

ウ 人に呼びかけるときや、お礼を言うときにも謝罪の言葉を用いる。

エ お風呂ふろはシャワーですませて湯船につかることはほとんどない。

オ ご飯を食べるときは主にナイフやフォークを使って食べる。

問4 B に入る言葉を**二十字以内**で自分で考えて答えなさい。

問5 C に入る、「言葉を用いなくとも相手と心が通じ合う」という意味の四字熟語じゆくごを漢字で答えなさい。

問6 本文では外国人とうまく付き合っていくために大切なこととして二つの例が挙げられていますが、どちらの方がより大切だと思いますか。あなたの意見を理由とともに**八十字以内**で答えなさい。ただし、次の「きまり」にしたがって書くこととします。

「きまり」

・ 題名は書かず、最初のマスから書き始めなさい。

・ 段落は変えず、一段落でまとめなさい。

・ 句読点なども一字に数えます。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ある俳優がいつていたが、演技で一番むずかしいのは「笑うこと」だそう^①だ。怒ったり、泣いたりすることのほうがずっとやさしい。怒る泣くということは、たとえ心にそういう感情がなくても演技できるが、「笑う」ということは、心からほんとうに楽しいと思わなければ、うまく笑えない……まあ、そういう意味なのだろう。

注 コンプレックスを持っていてる人なども、なかなかうまく笑えない。笑おうとすれば引きつったような、むりな笑い方になる。頬をピクピクさせながら笑う人がいるが、たいていは何かしらコンプレックスを持っていてる人だ。

それはともかく、コンプレックスがあるということを、あまりむずかしく考えなくてもいい。コンプレックスに悩む人は若い人に多いが、それは人間的に成長し、物事をいままでとは違った視点でとらえられるようになり、環境や立場が変わるにつれて、知らず知らずのうちに消えてなくなってしまうものだ。

ときがたてば、「あの頃の私は、なぜあんなことを気に病んでいたのかしら」と考えられるようになる。だから、あまり思いつめないこと。

むしろ、自分がコンプレックスに思っていることを笑い飛ばせるようになってもらいたい。そのくらいの意気込みで、心たくましく生きてもらいたいのだ。

その人の笑顔を見ているだけで、こちらまで気持ちよくなってくる。明るい気分になってくる……そんな人がいる。どういふ人なのかといえば、ひとりでいえば、「自分を大切にしている人」といえるのではないだろうか。

お酒を飲み過ぎて体を壊したり、ギャンブルにはまって首がまわらなくなったり、何事にも投げやりな態度で生きている人の笑顔というのは、どこか暗くよんだ印象を人にあたえるものだ。

自分を大切にする。それは、ものごとを慎重に考える、慎重に行動するということにもつながる。逆に横暴な人、粗雑な人、よく考えもせず行動する人、あるいは意地、見栄、嫉妬に気持ちをとらわれて行動する人。

これらはすべて、相手との関係において、じつは自分の感情や考えのようである、その実、相手の存在によって自分が動かさ

れている。これもまた、自分を大切にしていないということだろう。残念ながら、こういう人は、心からおおらかに笑うことがおずかしい。

(中略)

親しい友人たちと心置きなく、楽しく笑い合えるのは、どんな話をしているときだろう。私の場合はやはり趣味の話をしているときである。同好の人と、ヒコーキ、列車、船、まあそういった乗り物や、旅行の話に花を咲かせているときである。

趣味の話に夢中になっていると、仕事のことともイヤな出来事のことともすっかり頭から消えてくれるから、ほんとうに心置きなく気持ちよく笑うことができる。

趣味のない人は、どうだろうか。

たとえばだれかを槍玉やりだまに挙げて、その人の悪口でもいって、笑うしかないかもしれない。しかし、これは「気持ちのいい笑い」とは違うだろう。口は笑っているが、目は笑っていない……そんな笑いである。さんざん笑った後で、「ああ、あ」と、ため息が出てしまうような笑いである。

どうせ笑うなら、気持ちよく笑いたい。「きょうは、楽しい一日だったなあ」と心地こころのよい余韻よゐんが後々まで残るように笑いたい。

楽しく笑いながら生きていく。そのために、もっとも大切なことは、やはり「円満な人間関係」だろう。

友人、家族、仕事仲間……そういう人たちとうまくやっていけてこそ、思う存分に楽しく笑えるのである。

私はへたなダジャレや、ジョークが、かなり好きなほうだが、じつは、笑顔を生むために、そんなものは必ずしも必要ではない。おだやかな、あたたかい人間関係に囲まれながら生きていくことができれば、それだけで笑顔の花は、そこらじゅうに咲き乱れてくれるのだ。

円満な人間関係、そしてのびやかな笑顔にあふれた人生のためにも、ぜひ、周りにいる人を大切に思いながら生きていってもらいたい。

自分のことしか念頭にない人、人を大切に思わない人、そういう人は、人から嫌きらわれる。人から嫌われている人というのは、

いつも不平や文句ばかりいつている。^注ネガティブなことをいうのに忙しくて、楽しく笑う暇などないようだ。不平や文句をいうのではなく、自分のことばかり考えるのでもなく、人に感謝しながら生きていこう。だれにでも感謝するの
がよい。

「あの人は、つき合いづらそうだなあ」と思える人にも、「あの人は、どうしてあんなに威張り散らすんだろう」という人にも、「まったく気のきかない人だな」という相手にも、どこかに必ず美点はあるはずだ。

それを見つければ「ありがとう」だ。

いいかえてみれば、そういうことのできる人は「人から嫌われる」ことなどない。だれからも愛されていく。

やさしい笑顔で「ありがとう」という……このときほど人の表情が美しく見えるときはないのではないだろうか。こういう人は、笑顔がよく似合う。「うつ」も寄りつかない。笑う門から「うつ」はもちろん、さまざまな病気が逃げてゆくのだ。

「ときぐすり」という言葉を聞いたことがあるだろうか。漢字で書けば「時薬」で、つまり、時が経つにつれてみるみる体調が回復していく状態のことだ。

「ひぐすり」も同じような意味で、一日経つごとに病状がよくなることであり、こちらは「日薬」と書く。

そういうことなら、「^②わらいぐすり」という言葉も、おそらくある。なくてもいい、意味はわかるだろう。

(斎藤 茂太「笑うとなぜいいか？」による)

注 コンプレックス……自分が他人より劣っているという感情。

ネガティブ……否定的で後ろ向きな様子。

問1 — 線部①「笑うこと」とありますが、心から楽しく笑うために大切なことは何ですか。「うこと、うこと。」という形で二点にまとめて**六十字以内**で答えなさい。(句読点なども一字に数えます。)

問2 — 線部②「わらいぐすり」とありますが、どういうことですか。あなたの具体的な体験談とともに、わかりやすく**八十字以内**で答えなさい。ただし、次の「きまり」にしたがって書くこととします。

「きまり」

- ・ 題名は書かず、最初のマスから書き始めなさい。
- ・ 段落は変えず、一段落でまとめなさい。
- ・ 句読点なども一字に数えます。